

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	総合玄関につながるエレベーター、階段室のドアは施錠しており、利用者様が自由に出入りすることができない。	利用者様の安全を確保しながら、自由に生活できるようにエレベーターの施錠を外す。	運営推進会議や家族会にて施錠以外の安全対策について家族様、地域の方と話し合い、理解を得る。	6ヶ月
2	43	おむつ類の使用が多く、排泄チェック表が十分に自立支援に活かされていない。	一人ひとりの状況に合わせた排泄支援を行い、おむつ類の使用を減らす。	個別の排泄ケアに対して職員の意識を統一し、利用者の表情や訴えに合わせた誘導を行う。	3ヶ月
3	52	利用者は、リビングではダイニングテーブルとイス、キッチンカウンター横のイスで過ごされている。	ソファなど、利用者どおしで談笑、休憩できるスペースを設け、くつろげる場を提供する。	リビングの配置を再度検討し、ソファ、イスなどの購入を検討する。	3ヶ月
4	45	入浴日は、最低週2回の支援を行っている。	利用者の希望に合わせてながら、週3回の支援が継続してできるようにしていく。	職員の配置を検討し、利用者の希望に合わせた入浴ケアができるようにする。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。